事業所職員向け　放課後等デイサービス自己評価表

2025年3月31日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指定基準は満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置基準は行えている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーに配慮した設備となっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			今後より良い支援を目指していけるよう、毎月の部会内で業務改善に向けたミーティングを実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケート調査の結果を職員で共有して業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			実践研究会に参加するなどし、参加後は伝達講習を行い学びを広げている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ご家族へニーズの確認を行いながら個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	対象者が重度心身障がいの為、標準化されたツールは使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			チームで話し合いを行い実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			対象者が重度心身障がいの為、取り組みやすいプログラム作りを行い、季節を感じられるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			対象者が重度心身障がいの為、支援方法など検討し、負担のかからないようなプログラム作りを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			共生型デイサービス特徴を活かしながら、高齢者との関わりが持てる様にしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティング時や介助前に確認を実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎時間が利用者によって違うため、帰りのミーティングが行えていないが、業務日誌や経過記録を使い共有できるようにしている。必要に応じてカンファレンスを行い情報の共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は、利用ごとに毎回記載しておりミーティングや部会時に検証・改善に繋げている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一度、計画の変更の必要性を検討している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか			○	ガイドラインについては学習不足と感じており、引き続き職員で学んでいく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童の支援にかかわる関係機関の職員が集まり、検討を行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校の送迎時に担任の先生と情報交換する等児童の状態に応じて適宜実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			北見日赤小児科の主治医との連絡体制についてケースワーカーとの連携を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			地域基幹相談支援センターとも連絡をとりながら、情報共有が行えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、利用中の児童が障害福祉事業所へ移行するには当面先の為、連携をするまでの経過がないが必要時は連携していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			相談支援センター等との連携を図りながら、研修への参加を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		看護小規模多機能との共生型のため、高齢者との交流や活動の機会は持つことは出来ている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会等への参加は行えていないこ状況があり、参加し連携を図れるよう努めたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡調整時に子どもの情報交換を行い共通理解を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか			○	対象児が重度心身障害児であるため、実施していない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時以外にも、運営や支援内容に変更が生じた際は、必要に応じて説明を行い対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		関係機関との連携会議などに参加し、管理者や看護師、介護職員とご家族での相談・対応を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、2人の児童を受け入れているが、事業所を通して利用者の保護者同士の関わりは持ててはいない状況。支援学校を通して関係は持てており、情報を共有されている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については寄せられてはいないが、送迎時など対応について意見など無いか伺うようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を作成したんぽぽでの活動内容を知らせられるよう発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いについて、スタッフには個人情報遵守の誓約書を記入してもらい注意を払っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時にご家族との情報交換や連絡ノートを使用し意見交換をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		事業所の運営推進会議の開催も再開し取り組み状況を報告しているが、事業所への訪問などの活動は行えていないため検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを策定し、職員間では学習・周知は実施している。保護者まで浸透しきれていない状況の為、工夫が必要と考えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内での研修や外部講師を呼んでの学習を実施している。今後も充実させていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束適正化検討委員会を部会内において開催し、要性について検討し適宜評価し、保護者へ了解をもらい個別支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約の時点で、保護者からの聞き取り実施している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ミーティングの際、チームで話し合いを行っている。